

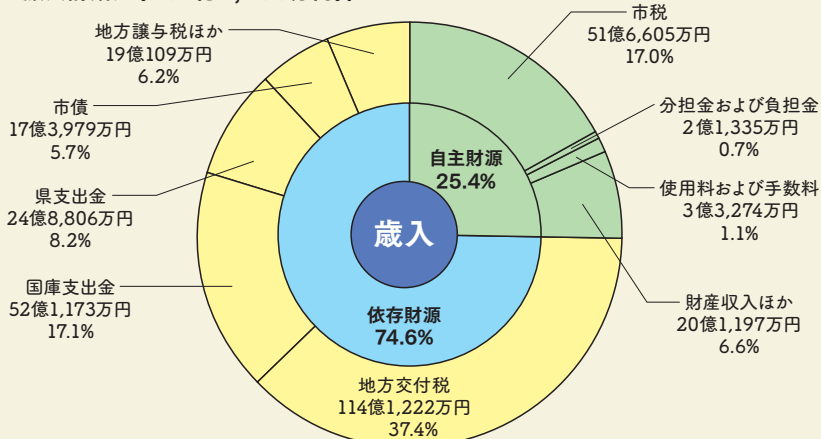
令和5年度の当初予算の概要をお知らせします

POINT 当初予算のポイント

- ・「コロナ脱却」を見据えた予算
- ・3つの施策の柱
- ①市民に寄り添った福祉の充実
- ②活動人口の増加による経済活動の活性化
- ③市民の将来に向けたまちづくりの基盤整備

令和5年度当初予算が市議会で可決されました。一般会計予算額は、**304億7,700万円**です。令和4年度からは**6億8,100万円の減額**となりました。コロナ禍を前提とした予算ではなく、市民生活を守るために必要なものを見極め、しっかりと重点化した上で予算を編成しました。

〈一般会計歳入(304億7,700万円)〉



主な歳入



歳入の種類は大きく分けて「自主財源」と「依存財源」の2つに分かれます。簡単にいうと「自主財源」は市が自主的に集められるお金で、「依存財源」は国や県などから入ってくるお金です。

市税

【個人市民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、都市計画税、人湯税】
★令和4年度までは景気減衰を考慮していたものの、令和5年度は景気回復により収入の増額が見込まれます。

地方交付税

【国が市町村に交付する普通交付税、特別交付税】
★地方税等の増額により、基準財政収入額の増額が見込まれるため、普通交付税の減額が予想されます。

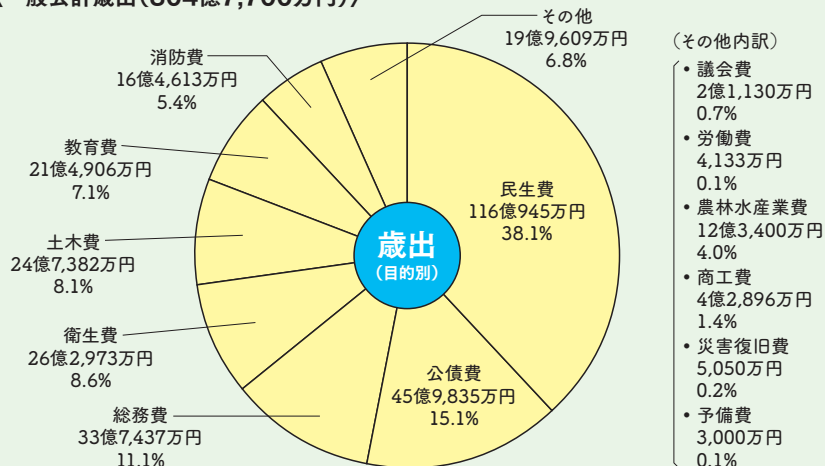
財産収入ほか(うち寄附金)

【ふるさと納税による寄附金など】
★近年の寄附金額の増加を考慮し、前年度比1,000万円、1.8%の増となっています。

市債

【建設事業の資金等必要となる借入金】
★前年度比6億6,487万円、27.6%の減となっています。

〈一般会計歳出(304億7,700万円)〉



主な歳出



歳出は、目的別(行政分野に対する経費の配分が分かるもの)と性質別(構造の特色が分かるもの)に分けて分析できますが、ここでは目的別に分類した歳出について説明します。

民生費

【児童手当、生活保護など福祉サービスに係る経費】
★生き生きセンター整備事業の完了や保育所等整備事業の実施がないことなどにより、民生費全体で前年度比1億8,293万円、1.6%の減となっています。

公債費

【市債の元利支払いに係る経費】
★ここ数年の市債発行額の減少などにより、公債費全体で前年度比1億3,210万円、2.8%の減となっています。

総務費

【庁舎やコミュニティセンターの管理、広報、選挙などに係る経費】
★旧金木高校市浦分校の解体事業や金木総合支所整備事業の完了などにより、総務費全体で前年度比6,474万円、1.9%の減となっています。

衛生費

【医療や健康推進、環境対策などに係る経費】
★健康増進施設整備事業が令和4年度からの繰越を見込むことなどにより、衛生費全体で前年度比3億8,975万円、12.9%の減となっています。

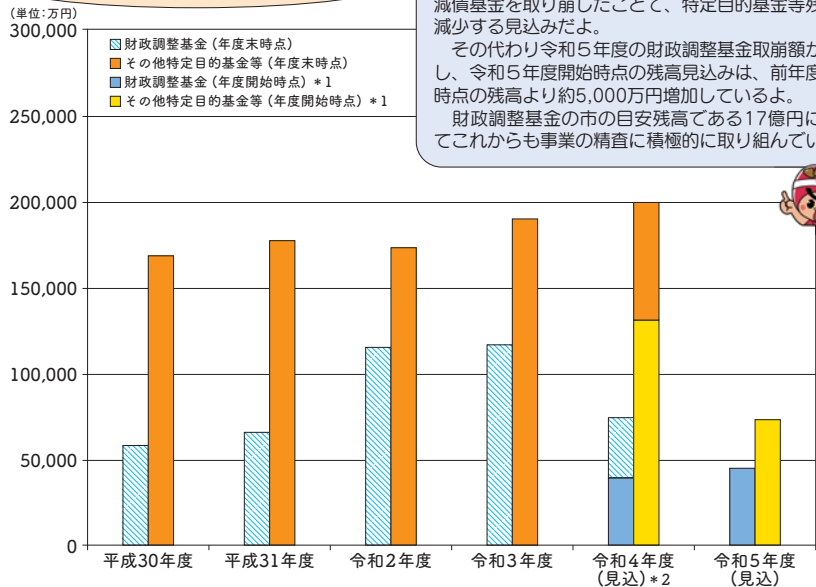
土木費

【道路や市営住宅の維持管理、都市計画などに係る経費】
★新生大橋橋梁補修工事や千鳥団地の屋根修繕工事の実施などにより、土木費全体で前年度比2億729万円、9.1%の増となっています。

教育費

【学校、公民館、図書館、給食センターなどの管理運営に係る経費】
★金木小学校大規模改造事業やふるさと交流圏民センター整備事業の完了などにより、教育費全体で前年度比2億1,316万円、9.0%の減となっています。

基金(貯金)残高

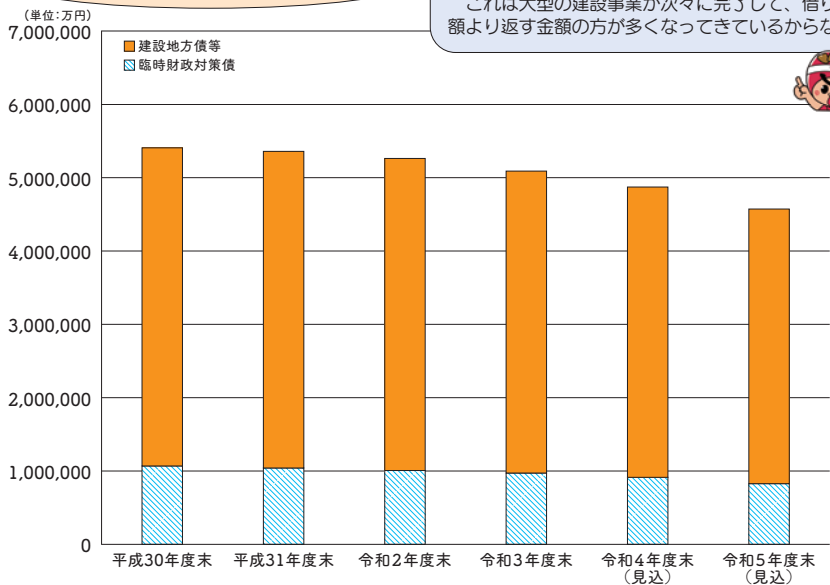


*1 歳計剰余金による積立は含めていません *2 ふるさと納税による積立は含めていません

令和5年度は公債費に要する一般財源を減らすため、減債基金を取り崩したことで、特定目的基金等残高が減少する見込みだよ。
その代わり令和5年度の財政調整基金取崩額が減少し、令和5年度開始時点の残高見込みは、前年度開始時点の残高より約5,000万円増加しているよ。
財政調整基金の市の目安残高である17億円に向けてこれからも事業の精査に積極的に取り組んでいくよ。



市債(借金)残高



市債残高(市の借金額)は、緩やかに減少しているよ。これは大型の建設事業が次々に完了して、借りの金額より返済金額の方が多くなってきているからなんだ。



市民に寄り添った福祉の充実



◎見守り移動販売支援補助金

買い物に困窮する高齢者の利便性を確保するとともに、見守り活動を行うことで、住み慣れた地域で安全・安心に暮らしていただける環境を構築するため、移動スーパーを開業する事業者を支援する。

200万円

◎子ども医療費給付事業

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、出生から中学校卒業までの子どもが入院・通院した場合に、保護者が窓口で負担すべき費用を給付する。
8月診療分から対象を高校生にも拡充する。

1億1,580万円

◎出産・子育て応援事業

妊娠期から出産・子育てまでの切れ目のない支援を行うため、妊婦や子育て家庭に寄り添い、面談等を通じて必要な支援につなぐ伴走型支援の充実を図るとともに、子育てに係る費用の負担軽減等を図るため、妊娠届出時に5万円、出産後に5万円を給付する。

2,398万円

◎すくすく学校給食応援事業

子育て家庭の経済的負担の軽減を図るために、市立小中学校に在学し学校給食を受けている児童生徒の保護者で市内に住所を有する方を対象に、学校給食費の全額を支援する。

1億4,865万円

活動人口の増加による経済活動の活性化



◎農業経営収入保険加入推進事業

農業者自身が不測の事態に対応し、安定した経営基盤のもとに営農活動ができるよう、自然災害や価格下落以外の経営努力では避けられない収入減少も補償の対象とする、農業経営収入保険への加入を推進することを目的に農業者収入保険の保険料(掛け捨て)部分に対して2分の1を助成する。

1,700万円

◎観光物産補助金

民間が主体となって地域を元気づける活動をより一層活性化させるため、五所川原地域の「ホコ天マルシェ」、金木地域の「うまいもんフェスタ in かなぎ」、市浦地域の「しうらグルメカーニバル」など市内の観光物産の活性化に資する事業を企画・運営する団体に対し、事業に要する経費の一部を補助する。

532万円

続いて、令和5年度の主な事業を紹介するよ!



市民の将来に向けたまちづくりの基盤整備



◎協元避難所建設整備事業

協元地区で津波が発生した際の住民の命と安全確保のため、高台(金木高校市浦分校跡地)に避難所を建設する。

1億1,406万円

◎防災行政無線整備事業

防災行政無線について、平成23年に整備した市浦地区沿岸部の子局と携帯機を更新する。

8,120万円

◎消融雪施設導入事業

将来に向けた雪に強いまちづくりの実現に向け、消融雪施設導入調査業務を行う。

500万円

◎地域公共交通活性化事業

人口構造の変化による交通需要の多様化に対応するため、既存のバス路線を見直すとともに、令和5年度から予約型乗合タクシーを三好、中川地区全域に拡大するなど交通空白エリアの解消を図る。また市浦地域、金木地域および五所川原地域を結ぶバス路線の利用者補助を行うことで、民間路線を活用した地域住民の生活の足を確保する。

905万円

◎生活交通対策事業

五所川原市と圏域市町村を結ぶバス系統路線について、国・県および沿線自治体と協調補助を行い、また五所川原市のみを運行するバス路線に対しても運行補助を行うことで、地域住民の生活交通を確保する。
令和5年度からは水野尾線を高野地区まで路線延長して、七和線を運行する。

1億2,646万円



予算概要や主な事業の詳細はホームページを確認してね!



財政課HP: <https://www.city.goshogawara.lg.jp/jouhou/sosiki/zaisei.html>